平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【文学研究科 臨床心理学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
17MPWP1101	臨床教育学総論	1	日本の臨床教育学の開拓の試みは、1990年ごろから、新たに始まった。私も、その動きに参加しながら、臨床教育学の構想を描いてきた一人である。そうした私の臨床教育学の構想を、本学の臨床教育学研究科で蓄積されてきた研究・教育の努力と到達を踏まえながら、整理して提示する。	1．臨床教育学についてのイメージを描く。 2．自分自身の研究関心を明確にしてほしい。			◎										
17MPWP2301	課題研究	2	臨床心理士の受験資格の取得を目指す大学院生には、主に臨床心理学に関連する修士論文の作成が義務づけられている。臨床心理士を目指さない場合はこの限りではないが、院生各自が選択する研究テーマと直接関係する研究指導を行う。	1．修士論文を完成させる。 2．最終審査会で発表を行い、合格する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○		
17MPWP1202	臨床心理学特論Ⅰ	1	臨床心理面接、主として力動的な心理療法・カウンセリングについての知識や理論を学ぶ。	主として力動的な心理療法・カウンセリングについての基本的な理解を身につける。	◎		○			○		○	○		○		○
17MPWP1203	臨床心理学特論Ⅱ	1	心理療法における基本理論ならびに基本的面接態度を身につけることを目標とする。	基本的な理論を身につけるために、テキスト講読を行う。並行して、基本的面接態度を身につけるためにロールプレイングを中心とした実習をおこなう。そうすることで、臨床心理学における理論と実践の統合を目指す。	◎		○					○	○		○		
17MPWP1204	臨床心理基礎実習	1	臨床心理実習にすすむ前のより基礎的な実習を行い、臨床実習ができる基礎力を身につける。	グループの中で自己表現を体験し、自分に出会い、自己分析を行う。いくつかの心理テストとロールプレイング体験、臨床倫理が身につく。	◎		◎	○				◎			○		○
17MPWP2302	臨床心理実習Ⅰ	2	臨床心理学を学ぶ上で、体験的な実習はきわめて重要な位置をしめている。本実習では本学附属相談機関、医療機関、精神保健福祉機関、司法機関などでインテンシヴな実習を行う。	心理臨床家として実践に役立つ技量の習得をする。事例検討会に出席し質疑討議の力を身につけ、その内容をレポートにして学びを身につける。	○		○	◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎
17MPWP2303	臨床心理実習Ⅱ	2	臨床心理学を学ぶ上で、体験的な実習はきわめて重要な位置をしめている。本実習では本学附属相談機関、医療機関、精神保健福祉機関、司法機関などでインテンシブな実習を行う。	心理臨床家として実践に役立つ技量の習得をする。全員が事例検討会に１回以上自験例を発表することで、教員や他の院生の助言・コメントからの学びを身につける。	○		○	◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎
17MPWP2304	発達臨床実習Ⅰ	2	本大学附属の「心理相談室」に来室するクライエントの心理治療、相談を実際に院生が担当して行う際のスーパービジョンを行うことが本科目の目標である。	「心理相談室」での臨床が継続できること。経過中におこる出来事について、スーパービジョンの意見が必要か否かを判断できる力をつける。	○		○	◎		○		◎	◎	◎	◎	◎	◎
17MPWP2305	発達臨床実習Ⅱ	2	本大学附属の「心理相談室」に来室するクライエントの心理治療、相談を実際に院生が担当して行う際のスーパービジョンを行うことが本科目の目標である。	「心理相談室」での臨床が継続できること。経過中におこる出来事について、スーパービジョンの意見が必要か否かを判断できる力をつける。	○		○	◎		○		◎	◎	◎	◎	◎	◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
17MPWP1205	心理統計法特論	1	修士論文研究に必要な統計処理法を解説し、さらに演習形式で処理を実践する。	1．修士論文研究に必要なデータ処理スキルを習得する。 2．統計検定に関するスキルを習得する。 3．多変量解析に関するスキルを習得する。	○	○	○				◎		○		○		
17MPWP1106	こども発達心理学特論	1	人の発達を心理学的にとらえる際の視点および方法が、発達への評価や支援へ与える影響を研究例から理解する。	発達の理論や基礎研究の成果を、研究および心理臨床、発達臨床、教育実践と関連づけて理解し、自分の研究に応用することができる。			○		◎	○			○				
17MPWP1107	発達神経心理学特論	1	子どもにおける認知機能の発達、障害、さらに各種発達神経心理学的検査の使用法、評価法についての理解を促す。その上で、発達障害への対処、支援法を考えさせる。	臨床や研究において、発達障害をはじめ様々な障害について、神経心理学的観点から考えることのできる能力を養う。	◎	○	◎	○				○		○			
17MPWP1108	教育心理学特論	1	教育心理学の基礎的な知識を学び、その理論と研究アプローチに関する理解を深めることを目的とする。	教育心理学の基礎的な理論と研究アプローチを理解したうえで、教育・臨床に関する研究論文をベースに学術的論議が展開できるようになる。		○	○		◎				○				
17MPWP1209	臨床発達査定法特論	1	査定（アセスメント）は、心理臨床活動全体の基礎に位置づけられる大切なプロセスである。この講義の目的は、様々な検査やその集計の体験的学習を通して臨床発達査定の意義を理解させることである。	臨床場面における対象者、とくに子どもの行動観察のための基礎と実践力を身につける。	○	○		◎				○	○		○		
17MPWP1210	臨床心理査定特論Ⅰ	1	心理検査および教育評価は各種支援を行うための基礎としても重要なものである。そのため、心理検査の使用方法を学ぶとともに、報告書の書き方、検査対象者への検査結果の伝え方などを身につける。	1．心理検査の実施方法を身につける。 2．心理検査の内容および特徴を理解する。 3．各検査の結果の解釈法を学び、結果に示された内容を理解する。 4．目的に応じた心理検査を選択する事ができる。	○	○	○	◎				○	○	○		○	
17MPWP1211	臨床心理査定特論Ⅱ	1	臨床心理査定の理論と実際について学ぶ。	1．臨床心理査定の理論と実際について基本的な理解を身につける。 2．さまざまな心理検査を適切に実施し、適切な結果の解釈、所見を提出できる。	○			◎		○		○	○		○		○
17MPWP1212	臨床心理面接特論Ⅰ	1	遊戯療法を中心として、基本的な面接姿勢を身につけることを目標とする。	遊戯療法とは何かについて問う中で心理療法の本質について体験的に習得することを到達目標とする。				○				○			○		◎
17MPWP1213	臨床心理面接特論Ⅱ	1	面接法の基本を学んだ後、様々な事例についての、臨床面接の実際の事例研究できるようになる。	クライエントとの面接ができる基本技能を身につけ、事例研究によってクライエントと治療関係を検討できるようになる。	○			○	○	○		◎			○		○
17MPWP2106	精神医学特論	2	心理臨床を実践するにあたり、その前提として必要な、クライエントが有する精神症状、精神疾患、精神障害への理解を深める。さらに、心理臨床の実践場面で援助者が留意すべき陥穽について、認識を新たにする。	精神障害をもたらす原因、その症状、経過、治療を疾患ならびに状態像ごとに習得する。また、当事者を取り巻く社会環境について理解するとともに、援助者自身の持ち味が治療関係にもたらす影響への感受性を養う。			◎		○				○				
17MPWP1214	臨床心理学研究法特論	1	臨床心理学のさまざまな研究法や、学術論文の形式について学ぶ。	1．臨床心理学の研究法についての基本的な理解を身につける。 2．修士論文の作成や研究活動を行う上での基礎的な知識、技能を習得する。		◎	○		○	○			○		○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
17MPWP2307	投映法特論	2	心理臨床家にとって、投映法の習熟は被検者をイデオグラフィックに理解する能力を身につけるために不可欠なものである。この科目では、各種投映法による心理アセスメントを実践できる技量を涵養することを目指す。	ロールシャッハ法、描画法、文章完成法など各種投映法について、実施方法および解釈技法を身につけて、実践的な心理アセスメント報告書が書けるようになることが目標である。				◎					○	○	○		
17MPWP2108	犯罪心理学特論	2	1．犯罪・非行を理解するための諸理論を概観する。 2．臨床心理学的な視点から非行少年や犯罪者の人格査定法を学ぶとともに、さまざまな矯正処遇法を概観する。 3．犯罪非行臨床で働く心理実務者の仕事や倫理規範を学ぶ。	1．犯罪・非行は、心理的・生物的・社会的な諸要因が複合して生じることを知り、諸理論の概要を理解する。 2．犯罪・非行臨床における心理査定と矯正処遇技法の実践力の基礎を身につける。 3．犯罪や非行に関わる諸機関の心理系専門職の実務や倫理を理解する。	○		◎	◎					○	○	○		
17MPWP1115	社会心理学特論	1	対人過程を起源とするさまざまな不適応行動のメカニズムを考えるために、社会心理学の基本概念と研究パラダイムを理解することを目的とする。	1．社会心理学の主要理論の基本的考え方を理解する。 2．実証科学としての社会心理学の基本的研究パラダイムを理解する。 3．対人過程を起源とする不適応行動への社会心理学的アプローチを理解する。 4．英語文献講読に習熟する。			◎		○				◎				
17MPWP2309	学校臨床心理学特論	2	学校現場における心理学の有効性について、これまで学んできた理論を整理し、実践的な視点から考える。単にカウンセリング技法の習得だけではなく、多面的に考える姿勢を養うことを目的とする。	1．「学校現場」や「学校にいる子ども」への理解を深める。 2．実践を意識した援助について考える力を身につける。	○		◎						○				